

## 令和5年度第1回いわき市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時 令和6年3月27日(水) 13:30~15:30

場 所 いわき市役所 3階 第3会議室

出席状況 15名中12名出席：過半数の出席者により会議成立  
(市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則第31条第2項)

会 長	西山奈津江	出				
副会長	坂本 直道	出				
委 員	小豆畑 淳	出、	大和田 廣子	出、	越智 春子	出、
	小宅 千代里	出、	金成 洋子	出、	後藤 美緒	欠、
	櫻澤 徳一	欠、	丹野 淳	出、	豊田 銀子	出、
	堀川 邦男	欠、	松尾 幸治	出、	吉田 秀樹	出、
	渡辺 忠行	出				

事務局 ごみ減量推進課長、課長補佐、庶務係長、計画係長、係員1名 計5名

議 事	(1)	令和4年度一般廃棄物(ごみ)処理実施計画の実績について	【資料1】
	(2)	令和6年度一般廃棄物(ごみ)処理実施計画について	【資料2】
	(3)	令和5年台風第13号等に係る災害廃棄物の処理について	【資料3】
	(4)	審議会の今後のスケジュール等について	【資料4】

### 《会長・副会長選出》

会長に「西山奈津江委員」、副会長に「坂本直道委員」を委員の互選により選出した。

### 《会議の開催形式等》

- ・ 会議については、原則公開とする。
- ・ 議事録の作成については、発言された委員名が特定されない形式とし、議事に直接関係する発言・説明内容を記録した「要点記録方式」で作成する。
- ・ 議事録は市ホームページにて公開する。
- ・ 第16期の審議会においては、上記の点について今後とも同様の取り扱いとする。

《議事》

(1) 令和4年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画の実績について

- ・ 資料1により事務局説明

《質疑応答》

(委員)

- ・ 2頁の一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標の状況について、リサイクル率、及び埋立処分量が令和12年度の目標値を既に達成している状況であるなら、もっと高い目標を設定しても良いのではないか。

(事務局)

- ・ 令和7年度は基本計画の中間年であり、見直しが行われる。目標を達成している項目については、目標値の見直しも行っていく。

(委員)

- ・ 12頁に記載されている、食品ロス実態調査の実施について、どのような調査を実施したのか教えて欲しい。

(事務局)

- ・ 市が回収した一般廃棄物のごみ袋を開封のうえ調査し、未開封食品のまま廃棄された食品や、消費期限切れにより廃棄されている食品の調査などを行った。

(委員)

- ・ 令和7年度の基本計画の見直しについては、本審議会も携わることができるのか。

(事務局)

- ・ 当審議会においても、見直し前に内容を見てもらう予定である。

(委員)

- ・ 2頁の一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標の状況の焼却ごみ量をみると減少している。ごみ減少の要因はどのようなものが考えられるか。

(事務局)

- ・ 減少の要因としては、人口減少に伴う自然現象、及び10項以降に記載している各種事業の成果による廃棄物排出量の減少であると考えられる。

(委員)

- ・ 最近はスーパーマーケットで缶、瓶、ペットボトルなどの再生資源を回収しており、持って行くとポイントがもらえたりする。  
このような民間企業の取り組みも廃棄物量の減少に繋がっていると思うのだが、本資料で示されている各実績には、民間企業が回収したものの量は反映されているのか。

(事務局)

- ・ 本資料で示している数字はあくまで市の施設に入ったものであり、民間企業で回収した廃棄物は市の実績に含まれていない。

《議事》

(2) 令和6年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画について

- ・ 資料2により事務局説明

《質疑応答》

(委員)

- ・ 9項のごみ処理量について、令和5年度の処理見込み量と令和6年度計画上の見込み量で数値が大きく乖離しているが何故なのか。

(事務局)

- ・ 令和5年度の数値は実績を含めた見込み量であるが、令和6年度の数値は令和2年度に作成された基本計画における、机上計算の見込み量である。このため、実績に近い5年度と、あくまで机上計算である6年度で数値に乖離がある。  
なお、先ほど説明したとおり、基本計画は令和7年度に中間年の見直しが行われる。

(委員)

- ・ 令和6年度は台風災害があったは、災害廃棄物はどのくらい発生したのか。

(事務局)

- ・ 家屋解体が現在行われているため推計となるが、災害廃棄物の発生量は1万6千トンである。

(委員)

- ・ 7項に、最終処分場整備の調査・検討と記載があるが、進捗はどうなっているのか。内容を見ると進捗が無いように見える。

(事務局)

- ・ 現在、候補地は決定しており、その測量調査等を行っている。進捗については記載内容について訂正したいと思う。

(委員)

- ・ 10 項にあるとおり、充電式電池は市で回収していないが、火災の原因になるなど危険なものである。その処理方法について、何か検討等はされているのか。

(事務局)

- ・ 本市では、アルカリ、マンガン電池以外の電池は回収していない。充電式の電池等は処理できる事業者も限られており、全国的な問題となっている。  
国でも問題視しており、動きがあると聞いているため、その動きに合わせ、本市でも処理方法等を検討していきたい。

(委員)

- ・ 事業系一般廃棄物については、指定の有料ゴミ袋が販売されているとのことだが、どの程度の販売数なのか。

(事務局)

- ・ 事業系一般廃棄物のゴミ袋の販売数量について統計をとっていない。

(委員)

- ・ プラスチックごみに関する新しい法律で、容器包装プラスチックと製品プラスチックが一括回収可能になったと聞いた。いわき市で一括回収は始まるのか。

(事務局)

- ・ いわき市ではプラスチックを容器包装プラスチックと製品プラスチックに分別して回収しリサイクルに取り組んでいるが、製品プラスチックについては、国の示すリサイクル方法と合致しない部分があるので、今後の課題として検討を進める。

《その他（意見）》

(委員)

- ・ 9 項の数値目標の、1 人 1 日あたりごみ排出量を見ると、令和 4 年度実績が 971g で令和 7 年度の目標が 960g である。  
目標達成までの 11g は少なく思えるが、毎日のことと考えると容易なものではない。いわき市のホームページに『生ごみ減量ハンドブック』という資料があり、とてもためになる資料であったため、参考に見てもらいたい。

《議事》

- (3) 令和 5 年台風第 13 号等に係る災害廃棄物の処理について
  - ・ 資料 3 により事務局説明

## 《質疑応答》

### (委員)

- ・ 災害廃棄物の仮置場はもっと設置できなかったのか。移動だけで時間がとられた。
- ・ 仮置場に災害廃棄物を搬入した際、細かく分別させられた。  
被災者のことを考えたら、分別しなくてもいいのではないか。

### (事務局)

- ・ 仮置場を設置するためには、土地の広さ等一定の要件があるため、どこにでも設置できるものではない。
- ・ 災害廃棄物は分類上一般廃棄物になり、最終的な処理の前にはどこかで分別する必要がある。これを全て仮置場等で事業者等がやるとなると、処理に係る時間も費用も膨大なものになる。ご理解いただきたい。

### (委員)

- ・ 消防団や他自治体の支援が入ったとのことだが、何か事前の協定があるのか。
- ・ 今回の災害対応における課題は何か。

### (事務局)

- ・ 消防団については、こちらから要請したのではなく相手方から支援の声をいただいた。また、他の自治体については、発災後すぐに環境省職員がプッシュ型支援として他自治体を連れていわき市に来て、支援の声をいただいた。
- ・ 市の計画上では仮置場を3日以内に設置することになっており、今回の災害も3日目に仮置場を設置したが、発災日の翌日が土曜日で晴天だったこともあり、翌日から大量の災害廃棄物が市指定の場所以外に排出されたため、今後の課題と思う。  
仮置場の運用方法について、見直し検討を行いたいと思う。

## 《議事》

- (4) 審議会の今後のスケジュール等について
  - ・ 資料3により事務局説明

## 《質疑応答》

- ・ 意見なし

## 《その他》

### (事務局)

#### (1) いわき市のごみ袋についての事務連絡

- ・ 本市のごみ袋について現在は300・透明なものとされているが、市民からごみ袋の大小サイズ違いのもの、また透明以外の色（半透明等）のものを利用できるようにしてほしいとの声が寄せられている。ごみ袋の種類追加について事務局で検討を行い、情報が整い次第本審議会でも意見を頂戴したい。